

R6年2月・3月実施 一般社団法人ライト牧場 自己評価結果

○環境・体制整備

- ・ライト牧場の特色である牧場活動を通して、利用者さんには四季折々の自然の中で動物達とのふれあいを楽しんでもらえていると思う。保護者アンケートからも牧場活動を楽しんでいたと回答をいただいた。
- ・職員の退職が続きバタバタしてしまっただが、連携を取りながら支援を進めて行けたと思う。

○業務改善

- ・今年度もコロナの影響があったが、夏休みには放課後デイみどりおかの皆さんとの運動会、EM友の会の皆様にご協力していただき、じゃが芋堀りができ利用者の方々からも楽しんでもらえたと思う。
- ・活動がマンネリ化しないように、日々の支援では、夕飼いを色々な担当に振り分けて活動をしてもらった。
- ・第三者外部評価は実施できていない。

○適切な支援の提供

- ・毎日支援の振り返りを全職員で行い、翌日の支援にどうつなげていくか打合せ会議を毎回行っている。日々の支援についても担当を決め、活動の記録、連絡帳の記入をしている。
- ・個別支援計画見直し月には、支援計画を基に全職員で評価・モニタリングを行い、会議をして利用者さんに合わせた支援計画の見直しを行っている。
- ・支援計画見直しの時期には親御様と面談をさせていただき、自宅での様子など伺い計画に反映し、次の支援につなげていった。面談時に、牧場で頑張ってお世話している様子を保護者の方から見学していただいた。実際に活動を見学出来て良かったです！と嬉しいお言葉もいただきました。

○関係機関や保護者との連携

- ・支援をするにあたり、対応に困る事や疑問があった時には、保護者の方、学校、相談員、他事業所に連絡し情報共有を行った。支援会議等には担当者が参加し情報共有を行った。
- ・保護者の方とは連絡帳を活用し、ご自宅での様子や、就寝・起床・朝の体温等を伺い活動の参考にして支援を進めた。事業所からはその日の活動の様子を記入し、体調の変化や確認が必要な時には保護者の方に直接連絡を取って確認を行った。
- ・今年度も父兄会は計画できなかった。以前は川遊び後の食事会をしていたが、来年度はコロナも落ちついてきたので、活動発表会などを計画していきたい。親御様方も親同士の顔の見える関わりを持ちたいとの声も聞かれた。

○保護者への説明責任等

- ・利用希望者さんと保護者の方には実際にお越しいただき、施設見学や利用手続きなどの説明を管理者が行ない、契約時には重要事項説明書、契約書、支払い等についての説明を行った。
- ・書面に記入いただいた、個人情報施錠のできる場所に管理している。
- ・PCのデータ保存については、ロックのかかるPCを使用し管理している。

○非常時等の対応

- ・定期的に避難訓練を実施。実施した報告が親御様方に行き届いていないとの声が聞かれたので、牧場通信等を通してしっかり報告していきたい。
- ・動画講座も活用し、定期的に研修を行った。虐待防止、やむを得ない場合の身体拘束について、日々振り返りをしながら支援を進めていった。
- ・今年度も新型コロナウイルス感染予防に努めて支援を進めた。マスクの着用、日々の検温、手洗い、消毒、体調管理はもとより換気をこまめに行い、三密を避けて支援に努めた。事業所内で感染者が出ることなく支援が進められ良かった。

総評

・5 類に分類されたとはいえ、新型コロナウイルス等の感染予防に配慮しながら支援を進めていきました。みんなが楽しみにしていた川遊びができず残念だった。また、保護者会も計画できず残念だったが面談時に牧場見学もしていただき活動の様子を見ていただけたことは良かったです。

避難訓練も定期的には実施していましたが、親御様方への周知が行き届いていなかったもので、来年度はしっかり報告をしていきたいです。

来年度も保護者の方々、関係機関と連絡を密に取り合い利用者さんにより良い支援を提供していきたいと思っています。

R6 年 2 月実施 一般社団法人ライト牧場 代表理事 石塚美和子

